

美木中だより 2月号

学校教育目標

美しい木々が健やかに育つ学校
「自律・挑戦・創造・人間性・協栄」

令和2年2月27日
発行
尾道市立美木中学校

「尾道きらり賞」を受賞しました！

本校は尾道市教育委員会から、今年度第4回の「尾道きらり賞」を受賞し、先月9日、佐藤昌弘教育長から、本校3年生の高橋佑輔君に賞状を授与いただきました。

佐藤教育長は「美木中学校では、これまでグローバルデイを学期ごとに1、2回開き、多くのALTや、台湾金門縣の生徒達と、英語を使って積極的に交流してきました。また、英語での全員面接やイングリッシュ・パスポートの取組などコミュニケーションを楽しみながら英語力の向上に励んできました。校外においても、高校の留学生との異文化交流会に2・3年生4名が市内の代表として参加し、英語を使って日本文化をととても分かりやすく紹介してくれました。市内中学校の全学年が受検している英検I B Aテストにおいても、3年生の皆さんは、英語力を飛躍的に伸ばしており、成果となって表れています。さらに、今年度は、尾道みなと祭りの『ええじゃん・SANS A・がり踊りコンテスト』や音楽コンクールにおいて、グランプリを受賞したことも、皆さんが、目標を高くもち、地道な練習を切磋琢磨しながら、取り組んだ成果だと思います。3年生の皆さんは、卒業まであと3か月となりました。みんなで力を合わせて困難なことも乗り越えてきた経験や、これまでの取組の成果に自信を持ち、1日1日を大切に、次のステップに向けて全力を尽くし、しっかりと自分の道を歩んでいってほしいと思います。また、1年生、2年生の皆さん。皆さんは、3年生が築いてきた美木中学校の伝統や誇りを引き継ぎ、仲間と共にこれからの美木中学校を更に発展させていってください。」と生徒を激励くださいました。

これを受けて3年生の亀田響さんは「私たち、美木中学校の生徒はええじゃん SANS A・がり踊りコンテストの取組で、昨年度の悔しさをバネに練習を重ね、金賞をとることができました。リーダーは練習の計画や声かけなどについて繰り返し話し合い、全体を引っ張ってくれました。また、体育大会や文化発表などの行事に全校生徒が全力で取り組み、音楽コンクールでもグランプリ賞を受賞することができました。学習面でも、徐々に成果をあげることができ、文化発表会やグローバルデイでは、仲間と協力して、主体的に取り組んでいます。私たちの努力が認められ、このような賞をいただけたことをとても嬉しく思います。この賞を励みに、これからも前向きな姿勢で何事も頑張っていきます。」と謝意を伝えました。

この受賞を励みに、これから待ち構えているであろう多くの課題や困難にも、果敢に挑戦し、乗り越えようとする意欲や知恵を自分の誇りとして、前に進んでいってくれるものと信じています。保護者の皆様、地域の皆様、温かいご理解と熱いご支援をありがとうございました。

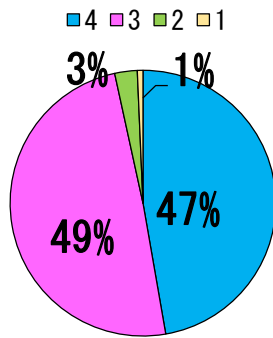


第2回 学校評価アンケートの結果について

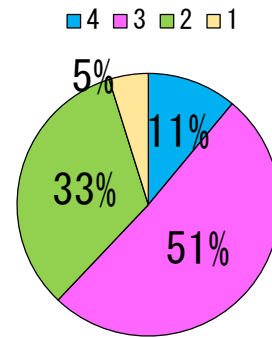
12月に実施しました、アンケートの結果につきましてお伝えします。7月よりも概ね、肯定的な評価が向上しています。共感的な人間関係の中で、自分に自信を持ち、のびのびと自分の力を発揮できる生徒の育成を目指して今後とも取組んでいきたいと考えています。

【生徒アンケート】 4…あてはまる 3…どちらかといえばあてはまる

学校には自分のことを認めてくれたり、わかってくれたりする先生がいる。

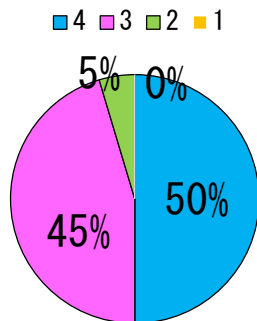


自分の良いところを言うことができる。



【保護者アンケート】 4…あてはまる 3…どちらかといえばあてはまる

美木中学校は、生徒が安心して生活できる学校だと思う。



我が子は、良いところを学校で認められていると思う。

